

保護者各位

仙台市立南光台小学校 校長 丹野 富雄

仙台市標準学力検査結果の報告と 今後の取組について(お知らせ)

盛夏の候、保護者の皆様方にはご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より当校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、4月に実施いたしました仙台市標準学力検査の結果及びその結果を踏まえた当校の学力向上に向けた取組について、今回の資料でお知らせいたします。

1 平成24年度仙台市標準学力検査の目的や留意点について

(1) 目的

仙台市標準学力検査は、児童の学力を的確に把握し、指導に生かすとともに、個に応じたきめ細かな指導の充実を図る目的で実施されたものです。

(2) 留意点

①この検査の結果はいわゆるペーパーテストの結果であって、それぞれの児童の学力の一部の結果ととらえることが大切です。

②目標値はあくまでも全体の結果を平均化したものです。単純に仙台市全体の正答率と校内正答率を比較するよりも、児童一人一人の結果を担当がしっかりと分析し、それに基づいた方策を個人ごとに立て、今後の児童の学力向上に向けて具体的に取組むことが重要で、効果的であると考えます。

③今後も標準学力検査結果を参考に、南光台小学校として重点を置いて取り組むべきことを総合的に判断し、全職員で取り組んでいきたいと考えます。

2 今年度の南光台小学校の取組について

当校では、今年度も児童の学力向上に向け、全職員で結果について分析するとともに指導方法の向上に向けて取り組んでおります。

今年度は、すでに4月のPTA総会等でもご説明しました協働型学校評価の1つ「進んで学習する態度を育てる」から、次の3点について、保護者の皆様のご協力をいただきながら取り組んでまいります。また、今回の結果を踏まえた今後の方策等の詳しいことについては、7月下旬の個人面談の折に担任よりご説明いたしますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

①学力の向上のために不可欠となる生活習慣を見つめ、その改善を図るために「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進します。

②学校で学んだことの定着を促すとともに、家庭でも学習する習慣を身に付けるために、音読カードや家庭学習カードを用いてその指導の強化を図ります。

③児童一人一人に応じたきめ細かい指導の充実を図るため、授業研究の中で学力向上を図るための指導法を工夫してまいります。

3 仙台市標準学力検査の結果について

(1) 全体の傾向と分析

① 学力検査結果 (3～6年生)

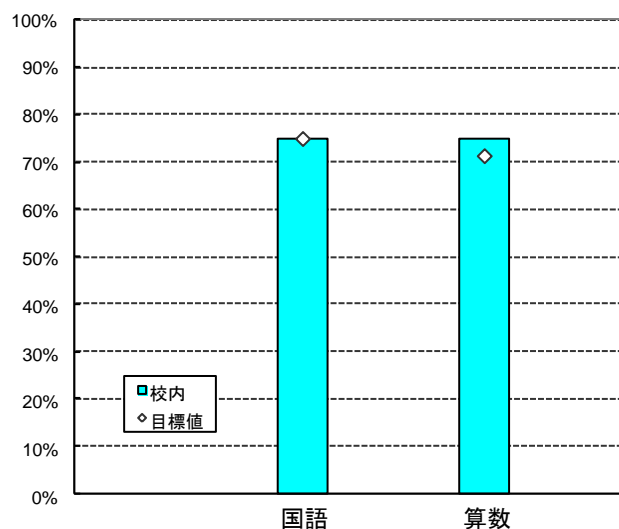
学校全体として、どの学年もどの教科も目標値を上回っているか、ほぼ同じ正答率で、「良好な状況」「大変良好な状況」でした。

② 生活・学習状況調査 (2～6年生)

全体として、勉強は頑張るが、家に帰るとテレビやゲームをする児童が多い傾向にあることが分かりました。普段家庭でテレビやゲームを2時間以上する児童が市平均より9～12%高いことは心配です。また、家庭学習を塾を除いて毎日1時間以上する児童は、市平均よりも6%程度少ないことが分かりました。

(2) 各学年の傾向と分析

□ 第 3 学年



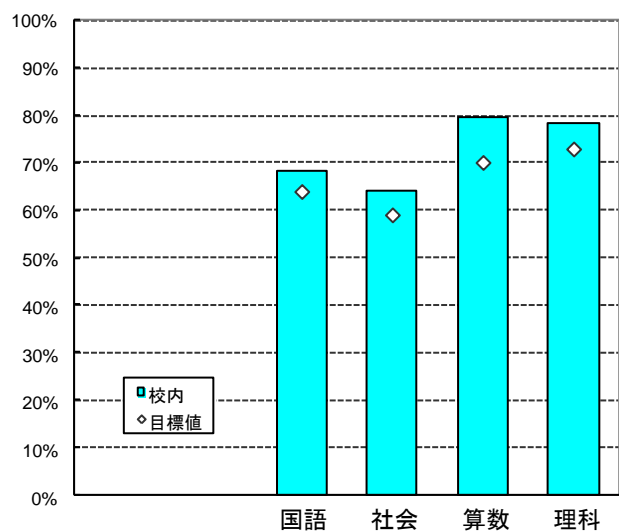
国語は、目標値 75.0% に対して、校内の平均正答率が 74.7% でした。ただし、仙台市の平均正答率よりもやや低い傾向でした。

領域別では、4 領域全てで目標値とほぼ同じ結果でした。しかし、4 領域ともにやはり市平均よりも低い結果でした。

観点別では、「書く能力」と「言語についての知識・理解・技能」が目標値よりも低いことが分かるが 5% 以内なので、ほぼ同じと考えています。

算数は、目標値 71.4% に対して校内は 75.1% (仙台市は 76.3%) でした。基礎・応用ともに目標値を超えており、市平均正答率とほぼ同じ結果でした。また、領域別でも観点別でも目標値を超えており、市平均正答率とほぼ同じ結果でした。

□ 第 4 学年

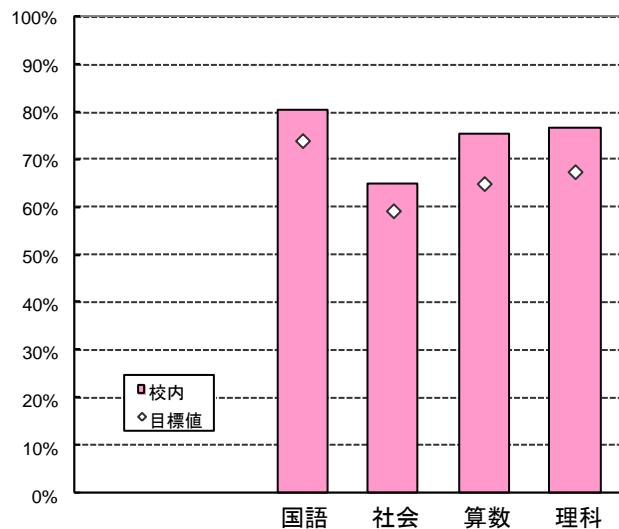


国語は、応用問題が目標値を 5 ポイント以上上回っており大変良好な状況でした。また、「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」は、目標値を 5 ポイント以上、上回っており「大変良好な状況」でした。しかし、「書く能力」については、目標値よりも 5 ポイント以上下回っており、今後の課題として取り組んでいく必要があります。

社会は、基礎・応用や観点別にかかわらず「大変良好な状況」または「良好な状況」でした。算数は、基礎・応用や観点別にかかわらず全て「大変良好な状況」でした。

理科は、教科全体・基礎・応用にかかわらず「大変良好な状況」でした。観点別では、「自然事象への関心・意欲・態度」「科学的な思考・表現」が「良好な状況」でした。また、「観察・実験の技能」「自然事象についての知識・理解」は「大変良好な状況」でした。

□ 第 5 学年



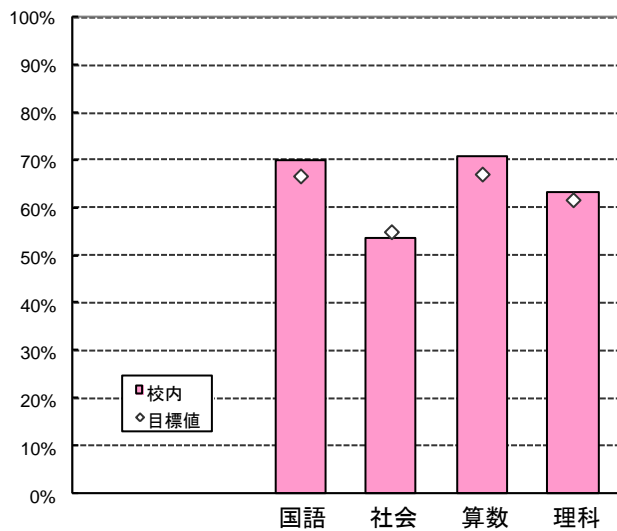
国語は、教科全体、基礎、各観点別状況で「大変良好な状況」でした。応用は「良好な状況」でした。

社会も国語と同じで、教科全体・基礎、各観点別状況で「大変良好な状況」でした。応用は「良好な状況」でした。

算数は、教科全体、基礎・応用、各観点別状況の全てで「大変良好な状況」でした。理科は、教科全体、基礎・応用、各観点別状況の全てで「大変良好な状況」でした。

5 学年は、どの教科をとっても「大変良好な状況」でしたが、学習の到達度に個人差が大きいので、今後も少人数指導など「個に応じた指導」を続けていきます。

□ 第 6 学年



国語は、「言語についての知識・理解・技能」が「大変良好な状況」でした。他は、「良好な状況」でした。

社会は、教科全体、基礎・応用、各観点別状況の全てで「良好な状況」でした。

算数は、「算数への関心・意欲・態度」が「大変良好な状況」でした。

理科は、「観察・実験の技能」が目標値よりも5ポイント以上、下回っています。今後指導方法の工夫に努める必要があります。他の観点は「良好な状況」でした。

また、学習状況調査の結果から普段の授業で、友達と話し合ったり、発表したり、書いたりする学習活動が市平均よりも「多い」「好きだ」と答えている児童が多いことが分かりました。

(3) 生活・学習状況調査結果の概要

【ねらい】生活・学習の様子をアンケート形式で、児童自身に答えてもらい、生活や学習の指導に生かすために学力検査後に実施しました。

【注1】数値は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合です。

【注2】各学年の集計結果から、市平均に比べて7ポイント以上差があるものを抽出しています。

【注3】記号の意味は、市平均との差を表しています。

◎：10ポイントより多い、○：5～10ポイントまで多い、

▽：5～10ポイント少ない ▼：10ポイント以上少ない

□ 第 2 学年

質 問 項 目	市平均	校内	差	
テストでよいんすうだと、みんなからすごいとおもわれるので、がんばる。	78.6	63.8	-14.8	▼
ものごとのしくみや、りゆうを、あれこれ考えるのはたのしい。	82.3	74.6	-7.7	▽
朝ごはんをたべずに学校に行くことがある。	12.5	4.6	-7.9	▽
おとなになった時のことを考えると、たのしいきもちになる。	81.4	73.8	-7.6	▽
ふだん(月ようから金よう日)、1日どれくらいの時間、テレビやDVDを見たり、ゲームをしたりしますか。(2時間以上)	36.9	45.4	8.5	○
じゅくで、学校が休みの日に、1日どれくらいの時間、べんきょうをしますか。(1時間以上)	18.7	26.9	8.2	○

□ 第 3 学年

質 問 項 目	市平均	校内	差	
べんきょうしないと、しかられるから、しかたなくがんばる。	45.1	34.8	-10.3	▼
なぜだろう?と、ふしぎにおもうことがたくさんある。	84.2	74.8	-9.4	▽
ものごとのしくみや、りゆうを、あれこれ考えるのはたのしい。	80.0	72.6	-7.4	▽
人がこまっている時は、すすんでたすけている。	81.4	68.9	-12.5	▼
ふだん(月ようから金よう日)、1日どれくらいの時間、テレビやDVDを見たり、ゲームをしたりしますか。(2時間以上)	40.6	49.6	9.0	○

□ 第 4 学年

学校のきまりを、まもっている。	90.6	83.0	-7.6	▽
じぶんのゆめをかなえるために、たくさんべんきょうする。	85.7	75.9	-9.8	▽
もっとよく知りたいことがあると、じっとしてられない。	70.9	57.1	-13.8	▼
よいてんすうをとると、友だちやいえの人から、「頭がいいね」といわれることがある。	45.8	35.7	-10.1	▼
朝ごはんには、パンよりもごはんをたべる日の方がおいしい。	63.3	50.0	-13.3	▼
休みの日は、朝なん時ごろにおきますか。（7時前）	58.4	47.3	-11.1	▼
ふだん（月ようから金よう日）、1日どれくらいの時間、テレビやDVDを見たり、ゲームをしたりしますか。（2時間以上）	44.1	61.6	17.5	◎
人がこまっている時は、すすんでたすけている。	82.1	67.0	-15.1	▼
むずかしいことでも、しっばいをおそれないでチャレンジしている。	80.8	66.1	-14.7	▼

□ 第 5 学年

ふだんの授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思う。	66.4	51.9	-14.5	▼
世の中で、自分に何ができるかを考えることがある。	66.4	54.9	-11.5	▼
学習塾（家庭教師もふくむ）で、ふだん（月曜から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（1時間以上）	30.0	39.8	9.8	○
昼休みや放課後、学校が休みの日に、学校の図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか。（月1回以上）	41.7	32.3	-9.4	▽
地域の行事に、参加している。	69.3	57.9	-11.4	▼

□ 第 6 学年

ふだんの授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思う。	61.4	51.3	-10.1	▼
学校の授業などで、自分の考えを文章に書いたり、説明したりするのは好きな方だ。	50.1	60.0	9.9	○
テストの点数が悪くても、別に気にしない。	40.5	24.3	-16.2	▼
良い点数をとると、友達や家の人から、「頭がいいね」と言われることがある。	50.5	38.3	-12.2	▼
良い点数をとると、家の人からごほうびに何かを買ってもらえることがある。	23.5	13.9	-9.6	▽
学校の授業時間以外に、ふだん（月曜から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 ※家庭教師・学習塾などを利用した勉強は除く。（1時間以上）	46.6	32.2	-14.4	▼
学習塾（家庭教師もふくむ）で、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（1時間以上）	21.6	9.6	-12.0	▼
昼休みや放課後、学校が休みの日に、学校の図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか。（月1回以上）	38.0	13.0	-25.0	▼
学校の宿題があったことを忘れて、やらないことがある。	27.5	16.5	-11.0	▼
学校の授業の復習をしている。	59.6	45.2	-14.4	▼
自分の将来について、家の人と、話し合っている。	57.4	67.8	10.4	◎

□生活・学習状況調査結果から

- ①挨拶を進んで行い、宿題もきちんとする児童が多かったです。
- ②学校全体で、テストの点数を気にする児童が多かったです。
- ③学習に対して「しかられるから頑張る」「勉強するのがいやだ」などの消極的答えが多かったです。
- ④高学年では、学習塾で勉強する時間が長い児童が多い反面、図書室を利用する児童や地域の行事に参加する児童が少ないことが分かりました。
- ⑤2時間以上テレビやゲームをする児童が市平均に比べて多いことが分かりました。
- ⑥親切・思いやりの気持ちを持てるようにする道徳などの指導がさらに必要であることが分かりました。



地域・学校・家庭の連携



児童による挨拶運動



読書活動の推進